

前奏 黙想	祈 禱
讚美歌 10 わがたまたたえよ	讚美歌 138 ああ主はたがため
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 創世記 28:16~19	黙 禱
ヨハネによる福音書 1:35~42	主の祈り 564
讚美歌 130 よろこべや、たたえよや	頌 栄 543 主イエスのめぐみよ
説 教 『足の下の岩』	祝 禱 後 奏

ヨハネ福音書が伝えるイエスと弟子たちとの出会いは、他の福音書の出会い場面とはまるで違う。シモン・ペトロの弟アンデレは洗礼者ヨハネの弟子だったが(ヨハネ 1:40)、イエスに感銘を受け、兄貴をイエスの所へ連れて行く(1:42)。そのきっかけを作ったのが師の洗礼者ヨハネであった(1:37,40)。

「イエスは彼を見つめて、[あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ=『岩』という意味=と呼ぶことにする]と言われた(1:42)」。ケファ(ヘブライ)=ペトロ(ギリシア)、「岩」とは何を意味しているのか。「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける(マタイ 16:18~19)」。神の恵みの言葉を受け継ぐ教会の礎が、ペトロの許でつくられる、という意味か。イエスは、ペトロの何をじっと「見つめて(ヨハネ 1:42)」、教会の礎となる「岩」と呼んだのか。どうして、弟アンデレに連れられて来ただけのペトロだったのか。

ペトロは「あなたはメシアです(マルコ 8:29)」と答えたその直後、受難予告(8:31)に対して「先生、そんなこと言うもんじゃありませんよ」と諫め(8:32)、「サタン、引き下がれ(8:33)」と激しく叱られる。また受難の暗示(ヨハネ 13:36)に対し、「あなたのためなら命も捨てます(13:37)」という志があっても、「あなたは三度わたしのことを知らないと言うだろう(13:38)」と言われ、その通りになる。弟子の中でもとりわけ惨めなペトロが、教会の礎「岩」と呼ばれた。「岩」とされたのは、彼の資質や信仰によるのではない。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ(15:16)」からだ。

私たちが近しく共感する「ヨハネの子シモン」は、イエスに呼び出されて「ケファ(ペトロ)」になった。イエスのまなざしを受け、改めて名づけられ、イエスに従い十字架に近づいて行くペトロは、幾度も挫折する「岩=教会」となった。私たちがイエスにじっと「見つめられ(1:42)」、それぞれに名を呼ばれる。すると「私の深み」が呼び出され、自由と愛を感じ、恵みの奥にある十字架へ向かう。

「ヤコブは眠りから覚めて言った。[まことに主がこの場所におられるのに、わたしは知らなかった]。そして、恐れおののいて言った。[ここは、なんと畏れ多い場所だろう。これはまさしく神の家である。そうだ、ここは天の門だ] (創世 28:16~17)」。実際のところ「畏れ多い“ここ”」とはどこなのか。父祖ヤコブのように目覚めて気づく「神の家、天の門」とは、私たちににとってどこであろうか。

「主がおられる神の家」とはどこか、二人の弟子にイエスは語る。「何を求めているのか」と聞くイエスに、弟子は「どこに泊まっておられるのですか(ヨハネ 1:38)」と尋ねた。するとイエスは「来なさい。そうすれば分る(1:39)」と答えた。腰を上げ、ついて行った「そこ」に、主が私たちと共におられる。

「主がおられ、畏れ多い、神の家、天の門(創世 28:16~17)」とはイエスの宿泊場。宿泊場は日々移り特定できない。イエスの「来なさい(ヨハネ 1:39)」という言葉信じ、従って行くことで私たちはそれを「見る(1:39)」。洗礼者ヨハネはイエスを「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ(1:29,36)」と告げた。

十字架で罪を清められ、神の小羊の復活の力に与るキリスト者。イエスの視線に捉えられ(1:42)、私たちが名づけられ、それぞれ役割を与えられる。八ヶ岳教会の柱や梁、屋根や床は、各々の私たちが、この足の下では「岩」とされたシモン・ペトロがキリストと共に、いつも支えてくれている。

家が壊されて土台の岩が露出した 幾世代もの歳月を支えていた岩 恥ずかしそうに沈黙している
この岩の上に新たな家が建てられる 続く幾世代を支えるために ひっそり キリストとペトロが
2/19(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(山梨 YMCA)。クリスマスが過ぎたと思っていたら、もう今日から受難節が始まり、一步一步十字架に向かって進みます。今年の復活祭は3/21です。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。